

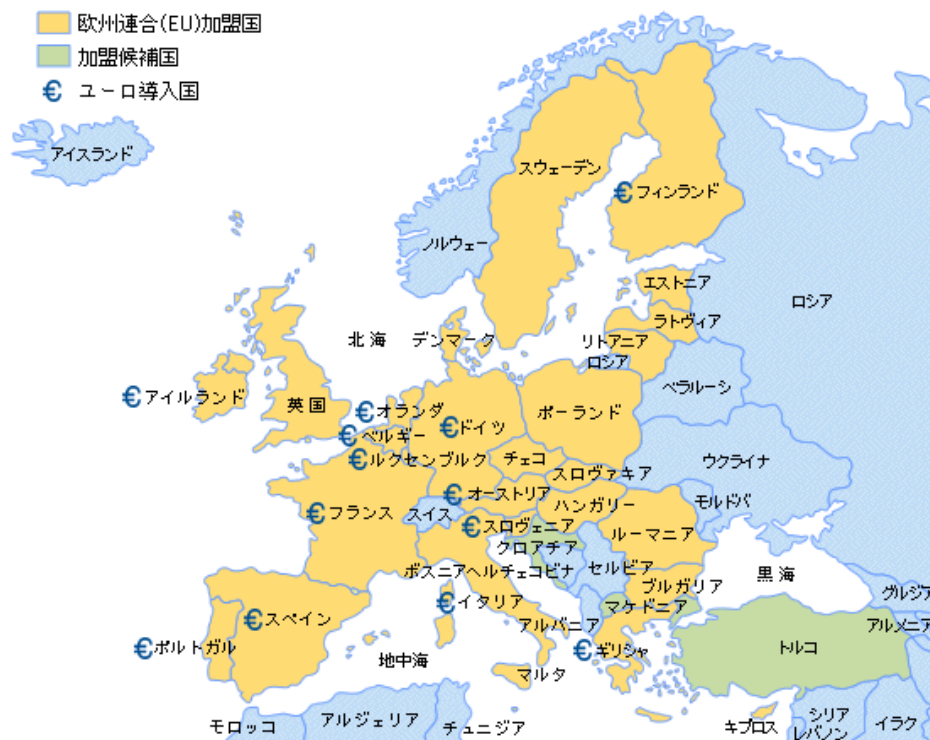
政治経済研究所主催公開講座  
2017年10月7日(土)

# EUはどこへ向かうのか

移民・難民問題、テロ、ポピュリズムの背景を考える

拓殖大学政経学部 准教授  
細井優子

# 1. ヨーロッパ連合 (EU) の現在



- \* 28か国 (\* 英国離脱交渉中)
- \* EU条約 (EUの憲法)
- \* EU法 (EUの法律)
- \* 欧州委員会 (EUの「霞が関」)
- \* 欧州議会 (EUの「国会」)
- \* 欧州理事会 (EUの「内閣」)
- \* 欧州司法裁判所
- \* 共通通貨 (ユーロ)
- \* **人の自由移動**

## 2. なぜ欧州統合は始まったのか

### 第一次世界大戦後

- \* カレルギー：**地域主義**

⇒ナショナリズムの拡大としての汎ヨーロッパ主義

- \* ブリアン：**不戦共同体**

⇒各国ナショナリズムの克服を目的とした汎ヨーロッパ主義

- \* ヒトラー：**人種主義に基づくナショナリズム**

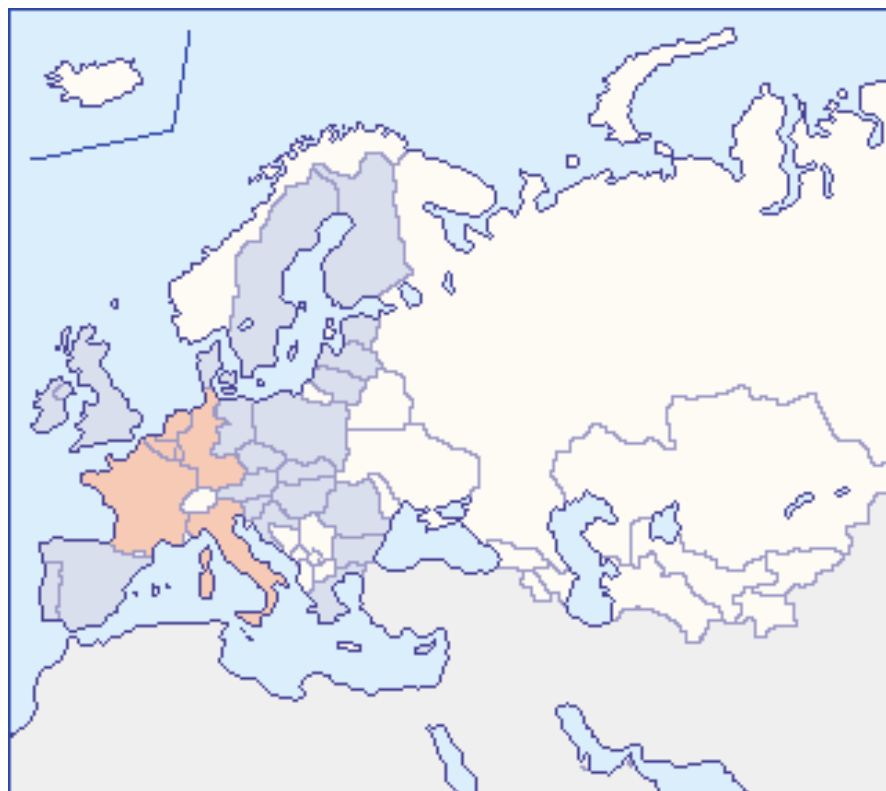
⇒第二次世界大戦により欧州統合運動は頓挫

# シューマン・プラン

- \* 1950年に独仏国境の石炭と鉄鋼を国際機関の管理下に置くことを提案
  - \* 西独、ベネルクス、イタリア
  - \* 1951年4月 欧州石炭鉄鋼共同体条約締結  
欧州石炭鉄鋼共同体 (ECSC) が設立
- ⇒EUの前身、ヨーロッパ統合のはじまり

# 3. 統合の深化拡大と諸問題

## 原加盟国



- \* フランス
- \* 西ドイツ
- \* イタリア
- \* ベルギー
- \* オランダ
- \* ルクセンブルク

# 第1～4次拡大の背景：EFTA

## 【原加盟国(1960)】

イギリス

デンマーク

【現加盟国】ポルトガル

アイスランド

リヒテンシュタイン

スイス

ノルウェー(国民投票否決)

オーストリア

スウェーデン

フィンランド

## 【原加盟国(1952)】

仏、西独、ベネルクス、伊

東ドイツ(1990.10)

アイルランド (1973)

イギリス

デンマーク

ギリシャ (1981)

ポルトガル (1986)

スペイン

オーストリア (1995)

スウェーデン

フィンランド

第1次

第2次

第3次

第4次

欧州自由貿易連合(EFTA)

EU

# 第5～6次拡大の背景：旧社会主義圏

原加盟国  
第1次拡大  
第2次拡大  
第3次拡大  
第4次拡大

チェコ (2004)

第5次

スロバキア

ポーランド

ハンガリー

マルタ\* 島嶼国家

キプロス\* 島嶼国家

ラトビア

リトアニア

エストニア

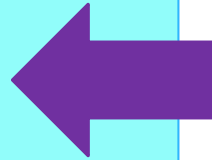
スロベニア

ブルガリア (2007)

ルーマニア

クロアチア\* 旧ユーゴ (2013)

第6次



EU

旧ソ連圏など

# 欧州統合の深化拡大に伴う問題

## ①内部不均衡の問題

- \* 加盟国間の経済格差(とくに新規加盟国)
- \* 新規加盟国から旧加盟国へ労働力の移動

## ②ナショナリズムの高まり

- \* 移民受け入れ国での社会的摩擦
- \* ナショナリズムを刺激→ポピュリズム政党の躍進

## ③社会統合とアイデンティティの問題

- \* ヨーロッパのリベラリズム的価値観とイスラームの対立



## 4. イギリスのEU離脱 (Brexit) を事例に

- \* 2016年6月23日実施の国民投票
- \* 投票率72. 2%
- \* 離脱支持:51. 9%、残留支持:48. 1%
- \* Bregret?

# ①経済格差

\* EU内経済格差

⇒拡大傾向、豊かな加盟国への移動

\* イギリス国内の経済格差

⇒拡大傾向・固定化

## ②ポピュリズム

### \* 定義

「人民」の立場から既成政治エリートを批判しながら政治変革を目指す運動

### \* 特徴

- ①主張の中心に「人民」を置く
- ②「人民」重視の裏返しとしてのエリート批判
- ③「カリスマ的リーダー」の存在

# ポピュリズム政党の台頭

- \* ファラージ(前)党首率いる英国独立党(UKIP)
- \* EU離脱派の主張を牽引
- \* 反EU、移民排斥、既成政治への批判を繰り広げる
- \* 極右・ポピュリズム政党

# EU離脱派の主張

「EU に週3.5億ポンド(5億円以上)を支払っている。  
そのお金を国民医療サービスに使おう」

\* リベート、補助金、実質的には週1.36億ポンド

\* BBCのテレビ番組でのファラージ党首

<https://www.youtube.com/watch?v=Vn7PtdEYYVo>

# ポピュリズムを支える有力な基盤

＜政治経済エリート＞

グローバル化やヨーロッパ統合を一方向的に進め、移民に「寛容」

＜非支配階層としての「下」の人びと＞

緊縮財政や産業構造の空洞化などの痛みを一方向的に負わされる

社会からの疎外感

エリートへの反感

＜ポピュリズム政党＞

既成政治を批判

既成政治から見捨てられた人々を守る「真の民主主義」の担い手

## ③移民・難民問題

- \* 欧州単一市場・人の自由移動
- \* EU加盟国国籍を持つ労働者の自由移動を保障
- \* EU司法裁判所、移住先での「完全な平等待遇」を要求
- \* **ポーランドからの移民労働者への不満(福祉目的?)**
- \* **シリア難民の受け入れへの不安(テロ・治安悪化?)**

# 国民医療サービスの質の低下 移民のせい？

- \* 移民の8割は生産年齢世代で医療をあまり必要としない
- \* 国民医療サービスで働くスタッフ(11%)、医師(26%)移民
- \* ユーロ危機以降の緊縮財政、高齢者増加傾向
- \* 必ずしも移民の増加が原因とはいえない

⇒「福祉ショーヴィニズム」



# 難民はテロリストなのか？

- \* 社会統合とアイデンティティ
- \* 多文化主義政策 ⇒「並行生活」
- \* 2005年7月ロンドン同時爆破テロ
- \* 「イギリス育ちの」ムスリム ⇒アイデンティティの喪失
- \* ごく一部の若者が有意味な帰属先を求めてイスラム過激組織へ

⇒テロリストは必ずしも外からやってくる時代ではなく、ヨーロッパ内部において養われ、自身の社会を破壊する

## 5. EUはどこへ向かうのか

- \* ナショナリズムとシティズンシップの関係
- \* EUの「シティズンシップ」はどうあるべきか
- \* 形式的なシティズンシップ・実質的なシティズンシップ
- \* 社会的排除・包摂
- \* リベラリズム的価値観、「英国人性 (Britishness)」